

スローレジとは？

高齢者や障害がある人がゆっくりと会計でき、お金の出し入れに時間がかかる人もあせらず買い物ができます。

従業員が丁寧に接するスローレジは、妊婦や幼い子ども連れの客にも優しいため、誰もが暮らしやすい社会に向けた取り組みです。会計時に勘違いや物忘れがあってもさりげないサポートがあり、嫌な思いをすることなく買い物ができます。

認知症になると今までしていた買い物を家族が心配して代わりにしてしまい、本人自身が買い物ができなくなることで、自信がなくなってきます。



家族は、単純に本人ができないと決めつけて買い物に行くことを止めさせたりせずに、何が難しくなっているのかをしっかりと確認して、できない部分をどのように手伝ってあげるのかという視点を持つことが大切です。

自分で買い物をするという行為は、購入する物を選んだりすることで、買い物をする喜びを味わい、時間がかかっても自分でできたという達成感を味わうことで自信につながっていきます。